

# 若手の人材育成と 伝統の左官技術 承継に尽力



中屋敷左官工業株式会社  
代表取締役

ナカ ヤ シキ ツヨシ

中屋敷 剛氏

〈プロフィール〉

昭和42年、札幌市生まれ。千葉工業大学卒業後、東急建設(株)入社。同社横浜支店、東京支店勤務。平成7年、先代である父の急死に伴い、現職に就任。

モデリングの活用で  
一流職人の技術を  
短期間で習得

中屋敷社長が先代の父の急死に伴い、三代目に就任したのは平成7年であった。バブルが崩壊し、業績が低迷する中、即座に社内改革に着手。恒常化していた外注を禁止し、一年で収益改善を実現した。

「一言で表すと、老舗の看板にあらをかけた状況でした。イージーな仕事だけをこなし、予算や工期などがハードな仕事はすべて外注していたので、利益が上がらず、職人技術も向上しない悪循環に陥っていました。それまでゼネコンに勤めた経験もあり、どんな左官屋が求められるかわかっていたので、このままでは淘汰されてしまうことは必至でした。自分たちの仕事は、自らが責任をもって完遂し、信頼を重ねてゆく。そのためには、職人をしっかりと育成し、会社の技術力を高めることが不可欠だったのです」。

左官業界では現在、職人の高齢化と若手の人材不足が進み、技術の伝承に苦慮している。北海道の左官職人は五十五歳以上が六割を占める。

# 十年後の左官業界を見据え 三十年後の百年企業に布石を打つ

このままの状況が続くと、十年後には六十五歳以上が六割となり、伝統的に受け継がれてきた左官技術が消滅の危機に瀕することが懸念されている。

「左官の技術は二〜三年で身に付くような浅いものではありません。一人前になるまで最低十年はかかると言われます。それを考えると、これ



手本となる作業を実演する一流職人

映像を観て動作を覚える若手職人

## 若手が知識・技術を磨く「中屋敷塾」



からの十年で若い職人をいかに増やしていくかが、とても重要な課題です」と、中屋敷社長は強い危機感を覚えている。同社では、若手育成のための施設「中屋敷塾」を開設し、知識・技術の研鑽に努める場を設けるなど、積極的に人材教育を図ってきたが、昨春よりモデリング手法を活用した技能トレーニングを本格導入した。これは、一流の左官職人が作業する映像をタブレット端末で確認して、こてや手首の使い方などを模倣しながら技術を身に付けるもので、文書や口頭では伝えられなかった技術の詳細が理解・体得できる。繰り返し再生可能、一時停止やスロー再生も自在で、費用がかからず、いつでもどこでもできると、多彩なメリットを有している。

「昔から職人の世界では『技術は見て盗むもんだ!』と言われてきました。モデリングは、この『見て盗む』を科学的にトレーニング化したものです。ゴルフや水泳などのスポーツ界では、このモデリング手法は広く用い

られており、早期育成につながっています。昨年より本格的に導入した結果、今まで伸び悩んでいた若手が、短時間で劇的に成長しました。モデリングで育成期間を短縮すれば、技術伝承の問題解消にもつながると期待しています」。

モデリングの育成効果には業界内の関心も高く、日本左官業組合連合会では、モデリングのDVDを制作し、全国に頒布する準備を進めている。また東京銀座の老舗テラーが型紙作成などの教育に導入するなど、他業界の注目も集めている。

## 信頼の技術力で 商品開発、顧客開拓へ

「当社の使命は、お客様に喜ばれる商品やサービスを提供することです。一万円の仕事に対する『ありがとう』も、一千万円の仕事に対する『ありがとう』も、価値は変わりません。心からの『ありがとう』を増やすことが、企業のリアルな評価に直結すると信じています」。

人材育成と技術向上への取り組みは着実に実を結び、ザ・ウインザーホテル洞爺「嵐山 吉兆」の聚楽壁の施

工など、高難度の仕事も担当して評価を高めている。またコンクリート打ち放しの建物を補修する独自の再生システムも開発し、新たな顧客開拓に努めている。

「左官の伝統技術は、文化財や特殊な建物など、限られた場でしか発揮できませんでしたが、現代の建築デザインに取り込める工夫が必要だと感じています。新しい商品をつくり、新しいお客様を増やしていくことが企業の成長と業界の発展につながります。当社は昭和十六年の創業以来、七十余年の歩みを重ねてきました。これから三十年後に百年企業として存続できるよう、私が退いても企業として循環できる体制をさらに整えていきたいと考えています」。

## Information

### 中屋敷左官工業株式会社

住 札幌市中央区南5条西26丁目1-27

TEL 011-561-6019

URL <http://www.nakayasiki.co.jp/>



伝統の左官技術で施工担当したザ・ウインザーホテル洞爺「嵐山 吉兆」